

両神山(八丁尾根コース)山行報告

【山行日】2016年 5月 8日(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 1,600円

【メンバー】 CL:鈴木ユ、石川、岩淵、
香川、島田、須藤、松館、

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=落合橋登山口

P7:35/7:50~八丁峠 8:50~西岳 9:40/9:50~

東岳 10:40~両神山 11:30/11:45~東岳 12:20/12:50

~西岳 13:45~八丁峠 14:45~落合橋登山口 P

15:30/15:40=岩舟支所 P18:35



去年の同じ時期に計画し、雨の為西岳までで敗退し『今年は是非リベンジしたい』と言う要望があり、同じコースを計画した。上落合橋登山口に着くと、すでに駐車スペースは満車でかろうじて手前の



スペースへ横向きで駐車する。準備をしていると、先に着いていたグループのリーダーが、両神山頂から直接上落合橋へ下るコースを聞いてきた。「立入禁止のロープがあり、自己責任でロープをまたいで降りる人もいるが、大勢では使わない方が良いですよ」とアドバイスした。

そのグループは、我々がストレッチを行っている間に出発して行った。

我々も登山口のポストに登山計画書を入れ、大きな木製のハシゴを登り登山道へ入る。

八丁沢沿いに雑木林の道を登り、途中支沢を横切った先から、植林帯の尾根を登るようになる。

途中祠のある広場で、先行のグループが休憩しており、我々も小休止し衣服調整をする。

ここから九十九折れに登るようになり、先行したグループを追い越し八丁峠に着いた。

八丁峠で小休止し、菓子を食べて果物と水で水分とエネルギーを補給する。ここから八丁尾根の縦走路を登るようになり、少し進むといきなりクサリ場が現れる。ここからはクサリ場の連続となり、鎖場を6ヶ所あまり通過し、小ピークを二つ越えたと行蔵峠に着く。峠から急降下し、鞍部から長い鎖に取りつく。

落石に注意しながら登りきると、南北に細長い西岳の山頂に出る。今年は花の時期が早く、

アカヤシオはピークを過ぎていたが、花付が多くまだ十分すぎるくらい花が残っており見応えがあった。





それでもかと言わんばかりに咲き乱れ、疲れを癒してくれる。最後にやさしいクサリを2本登ると尾根に出て、左に進むと両神山頂に飛び出す。山頂は大勢の登山者で賑わっており、記念写真を撮るのも順番待ち。最高の天気恵まれ、富士山も拝むことが出来、アカヤシオの花も丁度見頃だった。

眺望とアカヤシオの花を楽しんだら、来た道を戻り下山する。下山は心にゆとりが出て、花や景色を楽しみながら下れる。『アカヤシオがきれい、きれい』と言っているうちに、東岳山頂へ戻った。

山頂からの眺望は良く、行く手には迫力十分で東岳の鋭峰が聳えている。西岳から3本の鎖で下ると鞍部に降り、ここから凹角状の岩場を20mほどの鎖で直登し祠があるピークに出る。さらにクサリを交えてこれを下り切ると、いよいよ東岳への登りになる。何か所か鎖場を登り、グングン高度を上げて行く。やがて傾斜が緩くなり、ヤセ尾根を緩やかに辿ると東岳山頂に出る。

東岳から先はやっと岩場から解放され、樹林の山歩きとなる。尾根の両側にアカヤシオの花が、こ



山頂はすでに大勢の登山者がランチタイム。予定していたベンチも若者のグループが食事中で、ビールを飲んで盛り上がっていた。仕方がないので、岩場の空いている場所に腰をおろしランチタイム。お湯を沸かして、それぞれ持ってきたカップ麺とパンやおにぎりで空いたお腹を満たした。ここから八丁峠までの下りは、登りと同じくらいクサリ場のアップダウンを繰り返しながら降りて行く。西岳まで下り、大休止して水分を補給し息を整えまた鎖場を下る。やっと八丁峠まで降りて安堵し、

最後の休憩をとってから気を引き締めて落合橋に向かう。皆も少し余裕がでて、会話を交わしながら軽快に下って行く。落合橋の登山口に到着、お互いの健闘を称え靴を履きかえて帰路につく。朝のグループは山頂から直接下ったらしく、車は無かった。山頂に着くのも我々より遅く、人数も我々よりも多いので無謀なリーダーだと思った。

途中、セブンイレブンでご褒美のアイスや飲み物を買って、時間が遅いので道の駅には寄らずに岩舟支所に向かった。